

独断

注目商品

REVIEW

マニュアルをもっと簡単に 指先一本で作成・閲覧・運用まで

クラウド型マニュアル作成ツール

Teachme biz
(ティーチャー・ビス)



■お問い合わせ
株式会社スタディスト
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-11-4 内神田金子ビル 6F
TEL : 03-6206-9330
<https://biz.teachme.jp>

マニュアルというと、分厚い取扱説明書や使用説明書を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが、日常的に必要なのは、手順を示した手引書である。近くにある紙にペンで手順を書いただけのメモでも、パソコンで見栄え良く作られたものでも、それを見たら作業のやり方がわかるものであれば、それはマニュアルの類である。

手順を書き出しおけば、覚えていなくても、それを見ながら作業をすれば同じやり方で行なえる。複数人間が同じ作業をする場合には、作業のやり方を共有することで、誰もが同じように作業をすることができ、これがマニュアルに求められる機能である。絵解きを加えれば、より見やすくなり、文章で伝えるよりも直感的に情報を共有できるので効果的である。

**作るのも、直すのも、探すのも
手間と時間がかかっていた**

では、実際にマニュアルをどうやって作成しているかというと、パソコンを立ち上げて、WordやExcelなどのワープロソフトやプレゼンテーション用の PowerPoint などのソフトウェアを駆使していないだろうか。貼り付ける写真の下準備からレイアウトまで、作成者にはある程度パソコン関係の操作スキルが求められる。作成者によってフォーマットがバラバラになると、それぞれの見栄えは良くても、マニュアルとしては使いづらいものになってしまうこともある。

さらに、作業というものは変わらずに繰り返すだけではない。新しい作業が増えたり、作業方法に変更が加わったり、改善されたり、現場では、状況に応じて日々更新されている。できる限り、マニュアルもその変化に合わせて、内容を更新していかねば役割を十分に果たすことができないのだが、紙媒体で作られたマニュアルは、更新作業にも手間がかかり、メモを書き加える程度で済ませることが多いだろう。気が付けば情報が古くなってしまいうまくない。

直すのも大変だったが、使いたいたきにマニュアル見つかからないというトラブルも少なくない。作成したマニュアルの整理と管理、運用にも多くの課題があった。これらの問題に光を当てた商品が登場した。

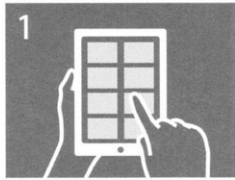
マニュアルの「大変さ」をなくす

今回紹介するのは、(株)スタディストが昨年9月に法人向けサービスを開始した「Teachme biz (ティーチャー・ビス)」というクラウド型マニュアル作成ツールである。「手順を追加する」↓「写真を撮る」↓「コメントを入力する」、この作業だけでマニュアルを作成できる、なかなかの優れものだ。すぐに「インターネットを通じて共有」すれば、マニュアルを印刷して配るという作業も不要である。

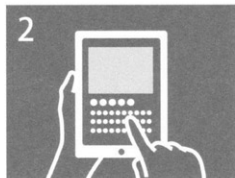
利用者は、スマートフォンやタブレット端末、パソコンのWEB画面上でマニュアルを作成したり、検索して閲覧したりする。パソコンは苦手だと敬遠してきた方でも、タブレット端末やスマートフォンなら指先一本で操作でき、特別なスキルを必要としないのが大きな特徴である。

写真だけでは、伝えにくい場合には、枠で囲ったり、矢印で指示したりといった編集機能も、スマートフォンやタブレットならタッチパネル

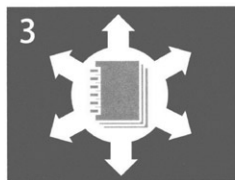
〈操作方法〉



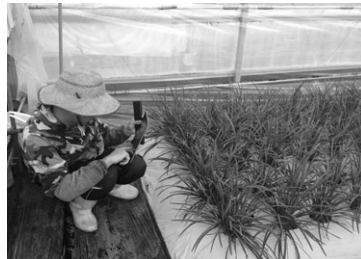
1 写真を撮って、ステップ作成



2 ステップにテキストを入力



3 インターネットを介してグループ内で安全に共有



ニラの写真を撮影する



コメントを記入する



メンバーと情報を共有する

で使えるので、操作性は抜群である。重要な機密情報の部分はモザイクで隠すこともできる。写真だけでなく、15秒までの動画や音声にも対応している。作成にかかる時間はこれまでの約1/5になるといえる。

外部に公開したくないマニュアルは、閲覧者をグループ内のメンバーに限定できる。メンバーであれば作成者に限らず、入力した手順に変更を加えられるので、日常的に更新作業をしやすい仕組みになっている。

そして、便利なのは、検索機能である。簡単にマニュアルを作成できるといえることは、作成されたマニ

アルの数も自然に増えることを意味している。それらをアーカイブ化し、同じフォーマットで管理することにより、検索機能を使えば、必要なマニュアルが簡単に見つかるようになったのだ。もし、見つからなければ、その場で作成すればよい。

このスピード感と簡単に使えるライトさによって、閲覧、運用負荷は約半分になるといえるから、マニュアルの持つイメージを大きく変えるツールである。

マニュアルは完璧でなくていい

「Teachme」を開発したのは、製造



上記の流れで作成したマニュアルの表示画面

業のコンサルタントとして、自動車の部品工場内の業務をマニュアル化する仕事に携わってきたエキスパートたちである。業務をマニュアル化する理由は、クリエイティブに考える時間を増やすためである。先のことを考えるために、これまでのやり方を整理して、見やすい形で共有しておく。誰かに任せるためのマニュアルでもあり、自らのノウハウの記録にもなる。

農作業の場合は、どの季節に、圃場や作物がどの状態になったタイミングで行なうかに精度がかかっている。ところが、相手にする作物も圃場も工業製品に比べて形も性質も多様である。その状況下でちよつとした異変に気づけるかどうか。経験と勘が十分でない若い世代にはぜひ、その部分をマニュアル化してみたい。

臨時雇用の慣れていないスタッフに作業のやり方を分かりやすく伝える。病気が発生したときには、観察

する方法をマニュアル化して、即座に共有する。経験豊かな世代が活躍しているうちに、ノウハウを記録しておく。今回紹介したツールは、そういう息子や弟子、スタッフらが親父さんなり、ノウハウを持つている人の観察眼を追いかける用途に最適ではないだろうか。

背中越しに、作業をしている手や足の動きを写真に収め、手順を整理して、メモを添えておく。一見、経営感覚がないように見える親父さんでも、別の角度では非常に長けた観察眼とノウハウを見つけ出すことができるかもしれない。

実際には、マニュアルをつくる過程で得られる学びや気づきを得られることが糧になる。日常的に写真を撮って入力していくことが何よりも情報量を増やすことになる。マニュアルを完璧につくることよりも、ちよつとした気づきを記録しておくことが重要である。

屋外の作業の合間でも、帰宅した後も、短時間でマニュアル化できるツール。料金は、作成マニュアル数が無制限、5人まで共有できるプランで月額2500円。マニュアルを10個まで無料で作成できるベータプランで実際に操作して、使ってみていただきたい。(加藤祐子)